



常設展のアンモナイト 2 点が 国立科学博物館の企画展で展示



2016 年に報告されたディディモセラス・ヒダケ
ンゼ (*Didymoceras hidakense*)



2017 年に報告されたゴードリセラス・イズミエ
ンゼ (*Gaudryceras izumiense*)



当館^{じょうせつてんじしつ}常設展示室のアンモナイト 2 点が 2022 年 12 月 4 日まで左のポスターで紹介している国立科学博物^{しょうかい}館（東京・上野）の企画展^{きかくてん} (<https://www.kahaku.go.jp/event/2022/09stratigraphy/>) で展示されることになりました。展示されるのは 2016 年に日本古生物学会^{おうぶんし}欧文誌 (Paleontological Research) で報告されたものと、2017 年^{ほうこく}に穂別博物館研究報告で報告されたものの計 2 点のアンモ^{ほべつ}ナイトです。

この 2 点のアンモナイトが当館^{さい}で再展示されるのは 12 月末からになる予定です。また、東京で展示を見ることのできる方は、この機会^{かんらん}にぜひご観覧ください。

カムイサウルスのこれまで⑭



2014年10月に発表した恐竜化石の産状図。約8m × 4mの範囲から多くの骨化石を採集した。

頭骨の一部である上顎骨発見の発表。左：小林 快次 准教授（当時）。右：竹中喜之むかわ町町長。



上顎骨のクリーニング



上顎骨と鑑定された化石（クリーニング前）

2014年10月3日に2014年までの恐竜発掘の成果を発表しました。この際に、化石は岩石に包まれた部分が多く、詳細については不明な点が多いものの、全身のほとんどの部分を採集したと考えられることを発表しました。また、発掘中の9月下旬からクリーニングしていた化石を10月10日に発表し、これが頭骨の一部である上顎骨であることについても発表を行いました。待望の頭骨が発見されたことで、この恐竜研究の進展にさらなる期待が寄せられました。

学芸員 西村智弘

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10名様以上)	200 円	50 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2022年 10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

休館日 町民無料観覧日

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、混雑時には入場制限を行う場合があります。入場は先着順とし、事前予約は承っていません。ご了承ください。

